と人生における利子の役割(3/7): 宗教と初期の思想家たち

:

明:

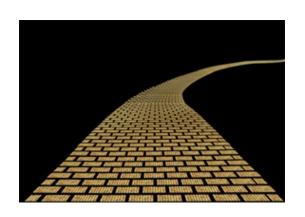
バイブル(ユダヤ キリスト教)、そして初期の思想家 哲学者たちにとって、利子とはどういった ものだったのか。

目:事イスラ ム的システム

より: ジャマ ルッ=ディ ン ザラボゾ (2011 IslamReligion.com)

⊞1 Oct 2011

集日 31 Oct 2011



当然のことながら、利子を禁じ、それを卑しむべき行 とみなす宗教はイスラ ムだけではありません。ある程度の利子の禁制は、旧 新 共にられます。旧 では多くの 所で「高利 し(Usury)」「利息(Interest)」について言及されます。(UsuryとInterestはもともと同じ意味合いで使用されていましたが、 代と共にUsuryは 度な、あるいは法外な割合の利子として用いられるようになりました。それゆえ脚注でも言及されるように、 米国 バイブル (定改版)ではジェムズ王 (定)のUsuryをInterestへと度も更したのです。)

申命 23:20 21ではこのように されています:

"同胞には高利 しをしてはならない。 の高利も、食物の高利も、その他いかなるものも高利を付けてはならない。外国人には高利 しをしてもよいが、同胞には高利 しをしてはならない。それは、あなたが入って得る土地で、あなたの神、主があなたの手のきすべてに祝福を与えられるためである。" (ジェ ムズ王版)1

同 に、出エジプト でもこう されています:

"もし、あなたがわたしの民、あなたと共にいる しい者に金を す 合は、彼に して高利しのようになってはならない。彼から高利を ってはならない。(ジェ ムズ王)2"

レビ 25:37ではこう されています:

またエレミヤ 15:10では、 言者は一度も利子を取ったことがないのに われたことへの不 を えていますが、そのことは利子を取る者が われるにふさわしいことを意味していま す。そして、おそらく旧 の利子に する最も凄惨たる のひとつは、エゼキエル 18:13でしょう:

旧 には利子の禁制を示す 々が他にもありますが、ここでは上 で 介されたものだけで十分でしょう。4*Easton's Bible Dictionary*

(イ ストン バイブル辞)は、利子に するモ セの律法をこのように要 しています:

モ セの律法は、古代イスラエル人が借用を必要とした 、 し出しは自由にしても良く、 利子は してはならないと要求していますが、よそ者に しては利子を しても良いとしま す (出エジプト22:25、申命23:19 20 レビ25:35 3% 。また7

年 には、すべての が 消しになりますが、よそ者に しては 与が取り立てられます。 ヘブライ共和国の 期になり通商が えてくると、 与に する利子の取り立てが 加しました。しかしヘブライ人に する取り立ては不名誉なことと なされました(篇15:5、箴言6:1, 4、11:15、17:18、20:16、27:13、17:180。。

不幸にも、 践 に してたびたびそうであるように、新 では利子 においても 分か 昧にされています。*The Encyclopedia of Religion and Ethics*

(宗教 理百科事典)によると、「そこには、(利子に して)キリスト教徒の道 心を く 直接的な教 はありません。」5

しかし、新 のイエスの教えとされる部分では、利子の 践に反 する明 なくだりがあります。あるくだりでは、イエスはこのように言ったと えられています:

このくだりでは、元金を受け取ることを期待せずに し出しなさい、とキリスト教徒たちに告げられています。これは「 しい言 」のひとつであると なされ、キリスト教学者たちはこういったくだりをどのように解 し 践に移すかで 解を にしています。

マタイによる福音 の25:14 28には、神が なる量のコイン(タラントンと呼ばれるもの)を 々なしもべに与えるたとえ があります。彼らの一部はその を投 し、神によって与えられたものよりも多くのものを神へと捧げました。しかし、神がそのコインを一枚だけ与えた人物が、18 で 明されています:

"?????????????????????????????????

神がそのしもべを呼び、彼がそのお金で何をしたかを いただしたとき、ただ一枚のタラントンを受け取った者はこう言いました:

主は彼に し、 しくこのように えられました:

*Geneva Study Bible ?????????????*このくだりを注 してこう述べています:

行家は店 または店外で利子を付けてお金を 与します (出工ジプ2:25 27 申命 23:19 20

)。高利 し、または利子を付けたお金の 与は、バイブルによって しく禁じられています。たとえその割合が1%であっても、利子は されませんでした(ネヘミヤ:11)。このしもべは嘘を二回つきました。彼はまず、主について 格で 慈悲であると言いました。主は慈悲深く 大であるため、それは嘘です。次に、彼は かなかった 所へ刈り取りに行き、主について泥棒であると言いました。最 的に、彼の主は皮肉を めてこのようなことを言いました: 「なぜ 害について侮辱を加えず、お金に利子を加えて し出して、主について "高利 じ

と言わなかったのか?」。もしもしもべがそうしたのであれば、彼の主はしもべの行について任を持ち、高利しの罪を犯したことになります。

初期教会の公会 は、旧 新 に基づいて利子を禁じています。やがて 者だけでなく、すべてのキリスト教徒は利子に携わることが禁じられるようになりました。トマス アクィナス7

に代表される一部のキリスト教神父たちは、利子 に する を じています。「グラティア ヌス法令に き、第三ラテラン公会 (1179)では、キリスト教法としてこう定められて います: 『表立って利子を取る者は、コミュニオンへの参加が められないだけでなく、彼らが罪深いまま死んだ 合、キリスト教式の埋葬も められない。』 § 1215年の第四ラテラン公会 では利子が非 されましたが、ユダヤ教徒には められました。カトリック教徒に しては、19世 まで利子の禁制を固く守っていました。プロテスタントの指 者だった16世 のマルチン ルタ も同 に利子を非 しましたが、どうやら人 の弱さを口 として 可を出したようです。

キリスト教指者たちによる利子への柔的な解は、カルバンを始めとしてまりだしました。そして徐々に民法は教会法にとって代わり、利子が制度化され出したのです。

利子を非 したのは、ユダヤ キリスト教思想のみではありませんでした。事 、ギリシャ の哲学者たちも利子に しては非常にネガティブな 解を持っていました。アリストテレ スやその他の著名な哲学者たちも利子を非 しています。オ ストリア人 学者として名高 いオイゲン フォン ベ ム バヴェルク (ベ ム=バヴェルクとしても知られています) は、その重要な著作*Capital and Interest* ???????でこう述べています:

古代世界における して少なくはなかった 意のある表 は、一部は利子の 取を禁じる法令 、そして一部はプラトン、アリストテレス、二人のカト 、キケロ、セネカ、パントス などによる偶有的 言によって 成されている。ギリシャ哲学者らは、金 を なる交 の手段 と なしており、それゆえ彼らは金 の 与の生 性を否定したのである。アリストテレスの学 は、金 は の金 を生じさせることが出来ないというものだった。利子は不正なものであるということが、 然とした だったのであるの

当初は、ロ マ帝国も利子の を禁じていました。商人 の 加と共にそれは多少 和されましたが、依然として利子を伴う 与は しく制限されていましたし、 者を保 する法律も存在 していました。

シェ クスピアのベニスの商人(1596年 の作)の登 人物シャイロックは、高利 しがいかに 蔑されていたかを表しています。ここで、いかに利子が西洋において 蔑 禁止された 行 から、社会的に められ、制度化されるまでに至ったのかという疑 が浮かび上がります。

Footnotes:

1

米国 では "同胞には利子を付けて してはならない。 の利子も、食物の利子も、その他利子が付くいかなるものの利けてはならない。外国人には利子を付けて してもよいが、同胞には利子を付けて してはならない。それは、あなたがて得る土地で、あなたの神、主があなたの手の きすべてに祝福を与えられるためである。" とされています。

3

"その人に金や食 を す 合、利子を取ってはならない。"(米国)

4

篇15:1 5、エゼキエル 18:5 9、箴言28:8を参照。また旧 もそれを しますが、ユダヤ人たちは利子の を禁じられらず、たびたびその行 に走ったのです。ネヘミヤ 5:6 7、エゼキエル 22:12を参照。

Quoted from Abdelmoneim El-Gousi, "Riba, Islamic Law and Interest" (Ph.D. Dissertation, Temple University, 1982), p. 113.

6

このような言 は完全主 的な 定や、 践不可能な理想、または" 定的な 理"などを表しているのでしょうか? キリスらは未だ、その に する答えについて合意できていません。参考: Lisa Sowle Caltiblye *Your Enemies: Discipleship, Pacifism, and Just War Theory* (Minneapolis, MN: Fortress Press, 1994), p. 27.

- 利子についてのアクィナスの思想に する はロドニ ウィルソンにあるmics, Ethics and Religion: Jewish, Christian and Muslim Economic Thought (Washington Square, New York: New York University Press, 1997), pp. 82-85から 出すことが出来ます。しかし として、多くのキリスト教徒たちが正 の 争について信じていたように、アクはキリスト教以前のギリシャ ロ マ思想に い影 を受けていました。
- <u>8</u> El-Gousi, p. 114.
- 2 Cf., Anwar Iqbal Qureshi, *Islam and the Theory of Interest* (Lahore, Pakistan: Sh. Muhammad Ashraf Publications, 1974 p. 8.
- 10 Boehm Bawerk, *Capital and Interest* (1959), Vol. I, pp. 10-11, Quoted from Afzal-ur-Rahman, *Economic Doctrines of Islam* (Lahore, Pakistan: Islamic Publications Limited, 1976), vol. III, p. 11. Also see Qureshi, p. 6; El-Gousi, p. 114.

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/542

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。